

令和6年度 施設関係者評価表

委員名： 鈴木 美鈴

良い点、悪い点、改善点等をご記入ください。

I. 福祉サービスの基本方針と組織

1. 理念・基本方針について
2. 経営状況の把握について
3. 事業計画の策定について
4. 質の向上への組織的・計画的な取組について

【コメント】

パンフレット等にある保育方針については、好印象を受けている。実際子どもの話から、いもほりやみかんがりなどの体験は、とても良い思い出として記憶に残っているようである。

知育玩具を導入し、自分で考える力やお友達と協力する力など、遊びの中で育つ力が育まれていることは理解出来る。ただ遊んでいるだけではなく、小学校に入学すると、その遊びを通して育った力が重要になってくるとの理解が、保護者全体に広まってくれればいいと思う。

II. 組織の運営管理

1. 管理者の責任とリーダーシップについて
2. 人材の確保・育成について
3. 運営の透明性の確保について
4. 地域との交流・地域貢献について

【コメント】

保育士不足が問題視されているように、どの園も、人材確保は今後も続く課題であると考える。

清武みどり幼稚園では、長く勤務されている先生もいることから、管理者等が「働きやすい職場づくり」の意識が高いのではないかと感じる。

全国的に若年層の離職率が高くなっているため、退職理由として多い、「人間関係」や「待遇面での不満」等、職員が抱えている悩みを把握して、今後も定着率の向上を目指して、管理者やリーダー等がサポートして欲しい。

III. 適切な福祉サービスの実施

1. 利用者本位の福祉サービスについて
2. 福祉サービスの質の確保について

【コメント】

保護者アンケート結果を見ると、教育・保育に関して、ほとんどが満足していることが分かる。

保護者コメントを見ても、プラスの意見が多く見られる。

しかし、マイナスの意見もあり、園の方針と、保護者の認識のズレが生じている可能性があると思われる。

園の教育・保育の方針が分かりやすく、保護者の方々に伝わってくれるといいと思う。

令和6年度 施設関係者評価表

委員名：今門 孝蔵

I.福祉サービスの基本方針と組織

- 子どもを取り巻く環境や子供の実態等、十分に検討されて基本方針が策定されている。また、宮崎学園の見学の精神「礼節・勤労」を中心に据え、生きる根っこを育てるということが明確に示されている。
- 学校法人宮崎学園の所属園として経営状況も的確に把握されている。
- 幼児期に育みたい力として非認知能力の育成に重点を置いており方針が明確である。

II.組織の運営管理

- 子どもや職員、指導内容、環境等、多岐にわたり園をしっかりと管理されている。園の細部まで把握をされている。職員間の交流がしっかりなされているように感じる。
- 人材は人の姿を見て育つ面も大きい。いい雰囲気の中でいい仕事をしている先輩を見て育っていく。本園の中核の先生方はすばらしい。
- 保護者の要望等の調査もしっかりされており、その対応も的確である。

III.適切な福祉サービスの実施

- 知育玩具や里山等、子どもの興味関心を示すものがあふれている。掲示物も子どもの意見も取り入れているものもあり楽しくなるものが多い。子供たちが自分で作成した作品で壁面や棚があふれており、園生活が更に楽しくなるように工夫されている。子どもの側に立って園が動いている。
- 働き方改革など難しい社会環境にあって、保護者の多様な考え方に立って取り組んでいる。アンケート結果からそれが明確である。どのような内容のアンケートにも誠実に対応されている。
- 福祉サービスを向上させていこうとする姿勢が説明全体から伺われる。

令和6年度 施設関係者評価表

委員名： 白石知子

先日はお疲れ様でした。大変遅くなりましたが、感想をお送りいたします。

評価委員会の際には、丁寧な資料を準備いただき、わかりやすい説明もあり、園長先生をはじめ教職員の方々が日ごろから子供たちの成長を願い、子ども真ん中教育・保育に取り組んでいらっしゃる様子を伺うことができ安心しました。まとめたコメントでお許しください。よろしくお願いいたします。

- ① 外部評価委員の連絡を年度当初にいただきたい。その際、本園の基本方針や組織、年間行事計画等をお送りいただくと通常の運営等を参観しやすいと思います。
- ② 自己点検については、教職員全体の評価から評価点を出すと教職員の意識付けにもなり次につながると思います。(小数点が出るかもしれない)
- ③ 評価内容や評価が昨年とほとんど変わっていない。評価のための評価ではなく、前年度「2や1」の評価については(1はなし)、3に向けて、改善点を教職員等で共有し、新たな評価項目や対策を検討してほしいと思います。自己評価が「2」については確認の必要あります。
- ④ 「共主体」の取組を「見える化」してほしいです。教職員全体で、教職員個別で、園児で、(保護者や地域も巻き込んで)でのより工夫を期待しています。そのような環境を作ると、子どもの遊びに広がりが見られるとともに、「幼児期に育みたい資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等が見られると思います。
- ⑤ 次期の学習指導要領の素案が9月に出ました。学習指導要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の趣旨を生かした教育・保育の先行実施を。宮崎学園短期大学附属園として、大学教員の研究とつながったりすることも有りかなと思います。次期学習指導要領は育みたい資質等は変わりません。「主体的・対話的で深い学び」、「多様性に応じた学びの促進」「情報教育の強化」を中心として進められる予定です。その基礎部分をどのように清武みどり幼稚園で繰り広げるか、知恵を出し合い、教師も職員も子供たちも保護者もワクワクする取り組みが繰り広げられることを期待します。特に、科学的思考は幼児期からの育成も大切です。その環境の充実もご確認ください。
- ⑥ 地域の認定こども園清武みどり幼稚園としての存在をもっとPRしてほしいです。今までやっていることは当たり前。小学校の今までの取組に助言をしてください。近隣の小・中・高等学校との連携やまちづくり協議会や自治会等のつながりもできます。保育者養成にもつながります。よろしくお願いいたします。

良い点、悪い点、改善点等をご記入ください。

I. 福祉サービスの基本方針と組織

1. 理念・基本方針について
2. 経営状況の把握について